

グループビジョン2030および 中期計画2025（2023～2025年度）

2023年4月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

I. グループビジョン2030について

II. 中期計画2025について

I. グループビジョン2030について

1. 企業理念

私たちは「Capital Solution※」を通してより豊かな社会の実現に貢献します。

※ Capital Solution : 「お客様の経営資源 (Capital) を中心とする幅広い経営課題に対して解決策 (Solution) を提供すること」を意味する、当社独自の表現。

- **企業理念（存在意義）のもと、2013年より進めてきたグループビジョンについて、CSV経営を実践する段階に発展させ、改めて私たちのありたい姿を定め、CSV経営と親和性の高いSDGsに同期する2030年をゴールとする新たなグループビジョンを制定**

2. グループビジョン2030の概要

次世代循環型社会をリードする Solution Company

次世代循環型社会

- 2030年以降を見据えた「次世代循環型社会」は、資源効率の向上による環境負荷低減のみならず、資源を循環利用し続ける世界、そこから発展し、新たな付加価値を生み出し続ける循環型の経済社会を想定
- CSV経営の実践により、多様化するお客様と社会の課題解決のために、環境と成長の好循環に繋がるサービスを提供し、「次世代循環型社会」の実現を目指す

Solution Company※

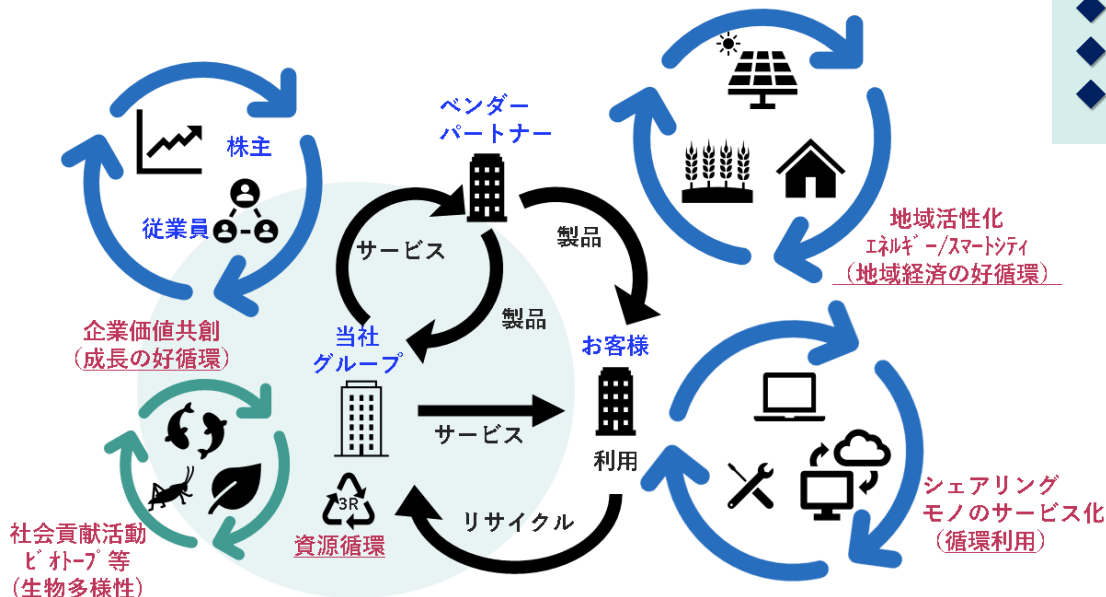
- 企業理念(存在意義)と社名に掲げる「Capital Solution」を実践している姿
- 国内外において「ベンダーファイナンス」「ICTサービス」「金融プロダクト」のソリューションを革新し、既存事業のみならず周辺領域への事業拡大や新たな事業、循環型のサービス創出に挑戦する

※ Company : 「会社/価値観を共有する集団 (仲間)」を意味する。

3. 私たちの考える「次世代循環型社会」

- 私たちはリース事業を通して、環境に配慮した製品の導入、高度な3R処理による資源循環により循環型社会の実現に向けた取り組みを推進
- 2030年以降を見据えた「次世代循環型社会」は、資源を循環利用し続ける世界、新たな付加価値を生み出し続ける循環型の経済社会
- リースにとどまらない、環境と成長の好循環に繋がるサービスを提供し、「次世代循環型社会」の実現を目指す
- キャピタルソリューションの革新により、様々な私たちの循環型サービスを創る

- ◆ モノの循環利用に繋がるサービス
- ◆ 地域経済・社会の好循環に繋がるサービス
- ◆ 企業成長の好循環に繋がるサービス



現在の循環型サービス (例)

- リース・レンタル (メンテナンス)
- サービスモデル (所有から使用へ)
- PC-LCMサービス
- サブスクリプションサービス
- ストックの有効活用 (不動産関連ビジネス)
- インフラ・シェアリング
- 再生可能エネルギー発電
- 企業のライフサイクル支援 (創業から再生まで)
- 地域活性化事業 など

4. SDGsとの連動

- SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」、掲げられた17のゴールは、2030年までに達成を目指すとする世界共通の目標
- 世界では、環境問題をはじめ貧困や飢餓、紛争、社会的格差、エネルギーなど様々な問題が渦巻き、賛同する企業はゴールに向けた取り組みをそれぞれ事業活動に取り込み、推進している
- 当社グループはCSV経営の実践により社会課題解決に向けたサービスを提供することで、事業を通じた社会価値向上への取り組みを進め、SDGsの達成に貢献する

17のゴールのうち、当社グループで貢献できることは特に以下の8項目（これらに限らず世の中の環境変化に対応していく）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



出典：国連広報センターHP

5. マテリアリティの特定

➤ グループビジョン2030 実現に向けてマテリアリティ(重要課題) を再特定

これまでのマテリアリティ		マテリアリティ	当社の取り組み
事業活動	収益基盤の拡充 ・ NECとの連携強化 ・ 資金調達基盤の強化 ・ 独自の顧客基盤の拡充 ・ グローバルビジネスの推進 ・ 新規事業の創出	脱炭素社会・循環型経済の推進	・ 気候変動への対応 ・ 循環型サービスの強化・創出
		社会・ICTインフラ整備の推進	・ 社会・ICTインフラの整備
		社会課題解決に向けた新たなサービスや事業の創出	・ 地域社会・経済の活性化 ・ 高齢社会への対応
経営基盤	企業風土の変革 ・ 従業員満足度の向上 経営基盤の強化 ・ 業務品質の向上 ・ コンプライアンスの徹底	人的資本への投資	・ エンゲージメントの向上 ・ 人材の多様性確保 ・ 健康経営の実現 ・ 持続的成長を実現する人材・組織開発 ・ テクノロジー活用による働き方改革
		企業価値向上を支えるコーポレートガバナンスの追求	・ 人権の尊重 ・ コーポレートガバナンスの実効性向上 ・ コンプライアンスの徹底 ・ リスクマネジメントの強化

II. 中期計画2025について

1. 中期計画2020 振り返り (1/2)

① 当期純利益は3ヵ年累計計画を達成、収益力向上は継続課題

- リース事業を中心にコロナ禍における需要増を取込み、利益目標値を達成
- 高収益アセットの積み上げやインベストメント事業の取り組みも収益貢献
- 収益力拡大等により外部格付は向上 R&I格付「BBB+」→「A-」 JCR格付「A-」→「A」
- 顧客基盤拡充や付加価値の高い取り組み推進等、更なる収益向上が課題

② 新規事業における収益化は領域ごとに進捗のばらつき

- エネルギー領域は事業範囲を拡大、ヘルスケア領域はウェアハウジング事業のアセットを順調に獲得する等、収益化を実現
- 観光領域は観光資源を活用した投融資やオペレーション、ファンド事業等の取り組みが進むものの、収益化はこれから
- 農業領域は6次産業化やバリューチェーン最適化の推進による収入の安定化・収益化に苦戦
- PFIはコロナ禍や物価高の影響を受けるものの代表企業としての案件獲得など収益化は進展

1. 中期計画2020 振り返り (2/2)

③ 新たなサービスの立ち上げ等は道半ば

- サービス化で先行する北米において「NEC Financial Services, LLC」を子会社化
- ベンダーとの新たなサービスモデルの立ち上げや新たなサービス創出に取り組むが、道半ば
- 当社らしい新たなサービスの創出・確立に向け、体制を含め強化が必要

④ 従業員エンゲージメント向上に向けた取り組みを強化

- リモートワーク環境の整備や業務プロセスの見直し等、働き方の見直しを推進
- 「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定
- えるぼし認定取得（3段階目）
- 働きがい向上に向けた活動を加速、エンゲージメント向上は引き続き強化継続



⑤ サステナビリティへの取り組みを強化

- 当社初のサステナビリティボンドを発行
- サステナビリティ委員会を新設しTCFDの枠組みに準拠したPDCAを開始
- TCFDへの賛同表明を実施



2. 中期計画2025とグループビジョン実現に向けたロードマップ

【グループビジョン2030】
次世代循環型社会をリードするSolution Company

2023-2025年度
新中期計画

2026-2030年度
次期中期計画

次世代循環型社会の実現に向けて
変革に挑戦する

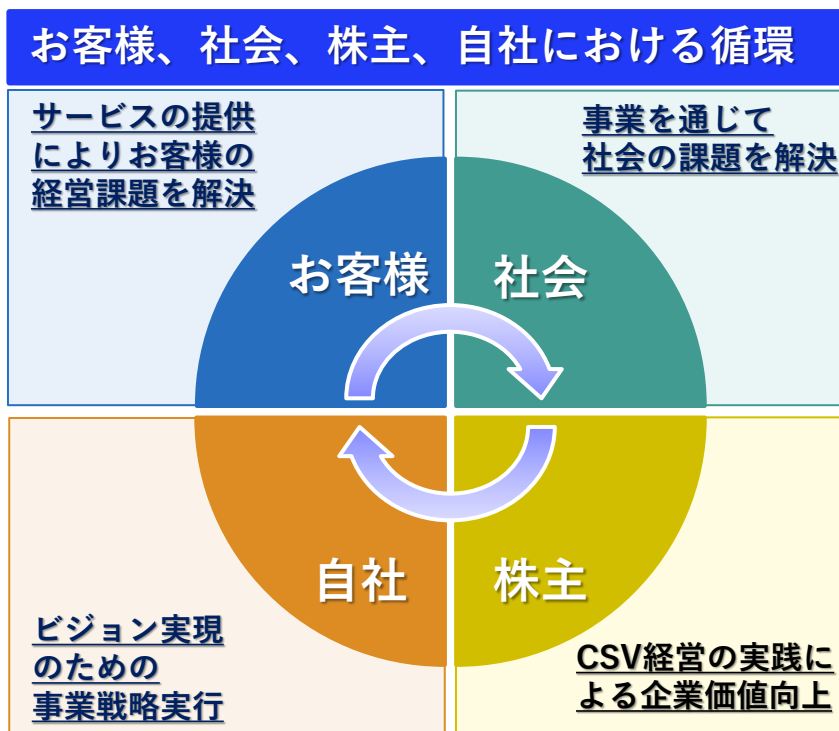
当社らしい
循環型サービスを
創出

当社らしい
循環型サービスを
発展

当社らしい
循環型サービスの
収益確立

3. 中期計画2025（狙い）

- CSV経営を実践し事業を通じてお客様と社会の課題を解決
- 次世代循環型社会の実現に向けて当社らしい循環型サービスを創出



新たな循環型サービスの創出

モノの循環利用に繋がるサービス

ICT製品のサブスクリプションサービス
ベンダーとの開発型共同サービスモデルの確立
不動産の活性化促進

地域経済・社会の好循環に繋がるサービス

PFI・PPP事業の拡大
地域金融の循環モデル構築支援
地域ベンダーが提供する自治体DXサービス連携

企業成長の好循環に繋がるサービス

企業のライフサイクルに応じたサービス
ファンド投資・M&A等アドバイザリー

4. 経営目標(財務・非財務目標)

- ▶ 次世代循環型社会の実現を通じ、収益力向上とサステナビリティ経営の推進を加速
- ▶ カーボンニュートラルの実現に向けた施策をはじめとする非財務目標を設定

■財務目標

	中期計画2025 目標値		
	2023年3月期 実績	2024年3月期 中期計画	2026年3月期 中期計画
当期純利益	64億円	75億円	100億円
ROA*	0.7%	0.7%	0.9%
ROE	6%	7%	8%

* 連結当期純利益/連結営業資産平均残高

■非財務目標 (抜粋)

	目的	目標内容	想定値 23年3月期	目標値 26年3月期
環境・ 社会課題	カーボンニュートラル 実現に向けたCO2の削減	Scope1+2：FY22実 績見込み比削減比率	156t-co2	20%削減
	社会インフラ整備の推進	官公庁・自治体の 3か年累計成約高	1,220億円	4,000億円
	ICTビジネス拡大に伴う 循環利用の促進	リース満了品3か年 累計処理台数	20万台	70万台
	気候変動対応の推進	再エネ発電容量 (保有発電所)	43.5MW	100MW
	自然資本を意識した 社会貢献活動の推進	学校ビオトープ教育 3か年累計延べ校数	3校	10校
人的 資本	従業員エンゲージメント の向上	従業員エンゲー ジメントスコア	21%	34%
	ダイバーシティーの推進	女性管理職比率	5.2%	10%

5. 中期計画2025（事業戦略1/2）

事業戦略① サービス事業の拡大、新たな循環型サービスを創出

- 再生可能エネルギー発電、ウェアハウジング、ITアセットマネジメント、観光の各事業におけるサービス拡大
- 新たな循環型サービスを創出
 - ・モノの循環利用に繋がるサービス創出
 - ・地域経済・社会の好循環に繋がるサービス創出
 - ・企業成長の好循環に繋がるサービス創出

事業戦略② 注力事業への戦略的投資による成長加速

- ICT関連サービスの高付加価値化による事業規模拡大
 - ・お客様・ベンダーとのシステム連携や企画機能強化を通じたPC-LCMに関するサービス拡充、レンタルの強化、BPO・コンサルティングサービス等
- 国内外における金融プロダクトの領域拡大・高度化
 - ・投融資やアドバイザリーを軸にした金融プロダクト・投融資対象を拡大し収益を拡充

5. 中期計画2025（事業戦略2/2）

事業戦略③ ベンダーファイナンスの強化および顧客基盤拡充

- ベンダーおよびお客様に寄り添ったキャピタルソリューションの提供
- ベンダーとの連携強化による収益性向上および収益機会創出
- お客様の課題に対するソリューション開発・提供による取引深耕

経営基盤強化戦略

- 業務プロセスのデジタル化とデジタル情報の活用踏まえた営業業務の基盤強化
- DX基盤となるコアシステムの立ち上げ、DX活動の推進
- 経営戦略に連動した組織作り・人材マネジメント制度導入、挑戦・革新し続ける風土作り
- コーポレートガバナンスの実効性向上
- カーボンニュートラルの実現（FY2040までに連結ベースのScope1+2を実質ゼロとする）に向けた諸施策の実行

\Orchestrating a brighter world

NEC